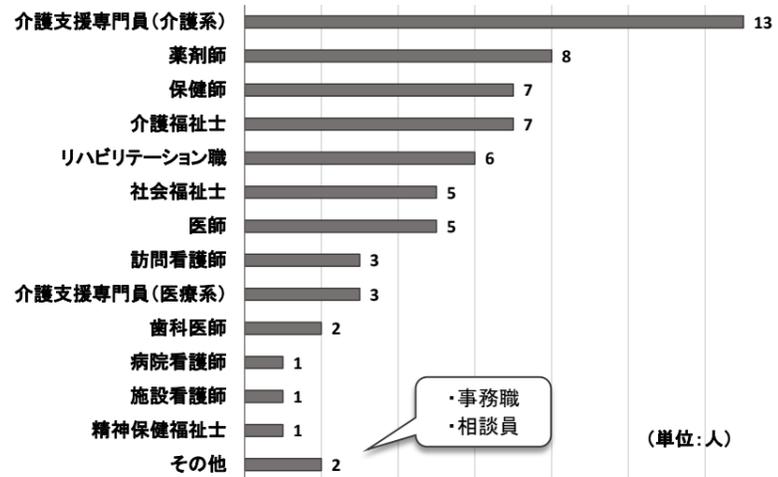
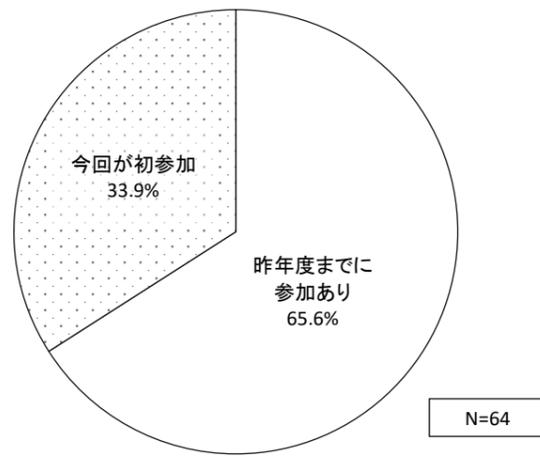


R3 顔の見える関係づくり交流会 アンケート結果

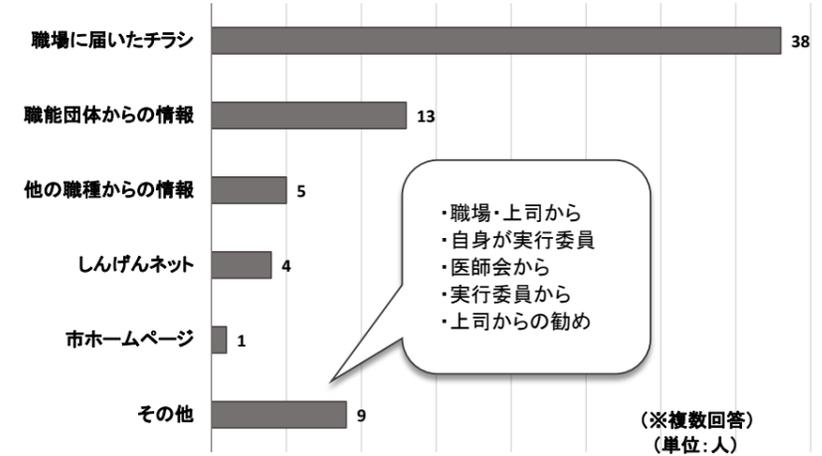
1. 職種



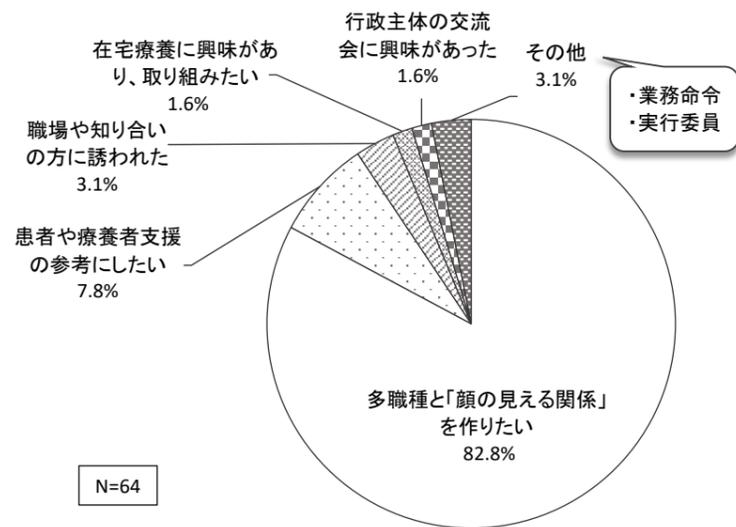
2. 交流会の参加について



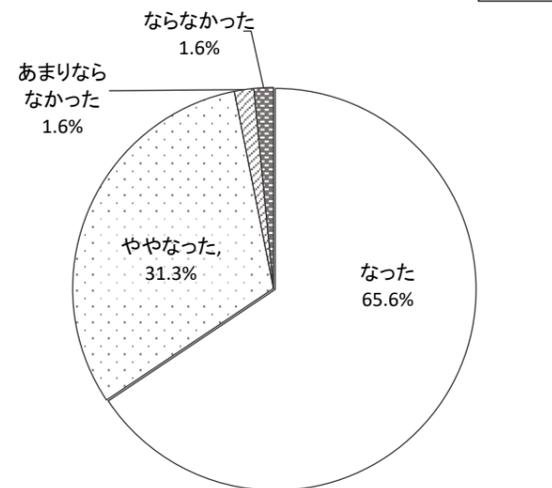
3. 交流会をどのようにして知ったか



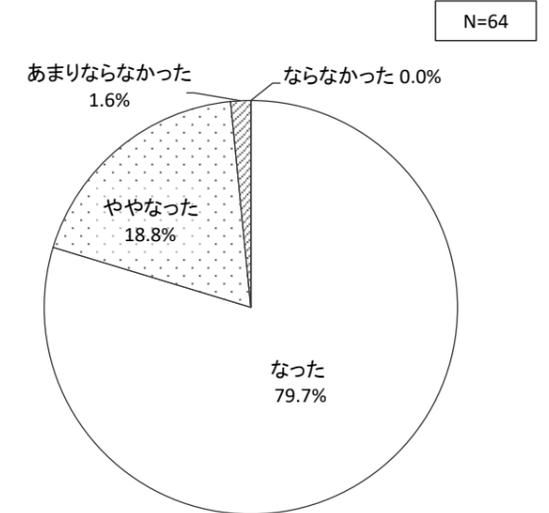
4. 交流会の参加動機について



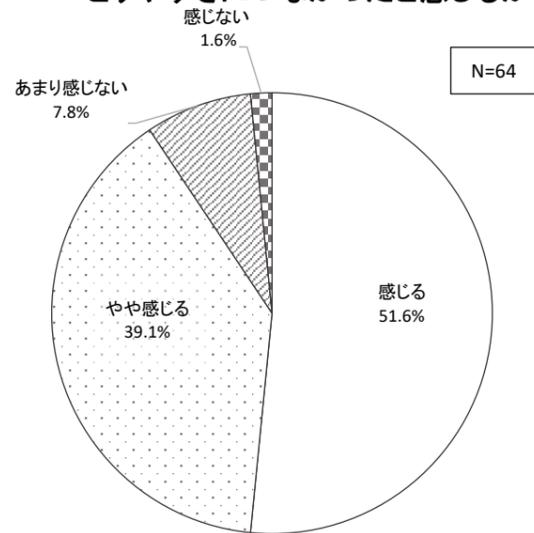
5. 多職種と「顔の見える関係」を作るきっかけになったか



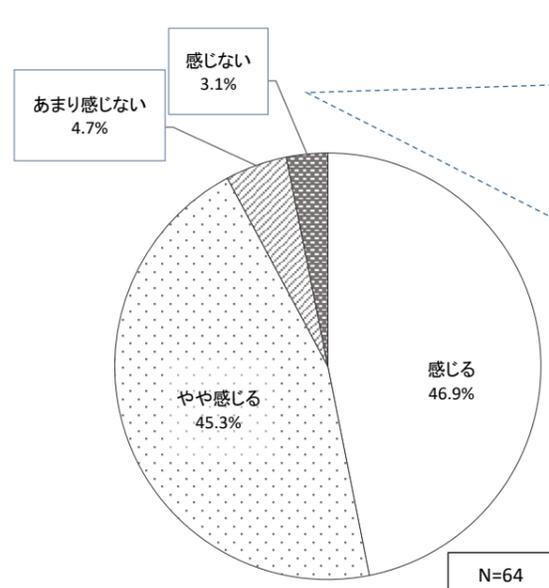
6. 多職種での連携に向け、互いの業務の現状や役割について理解する機会となったか



7. 本日の交流会が、今後の連携のとりやすさにつながったと感じるか



8. 交流会で出来た関わりやネットワークを、今後の業務に活かすことが出来ると感じたか



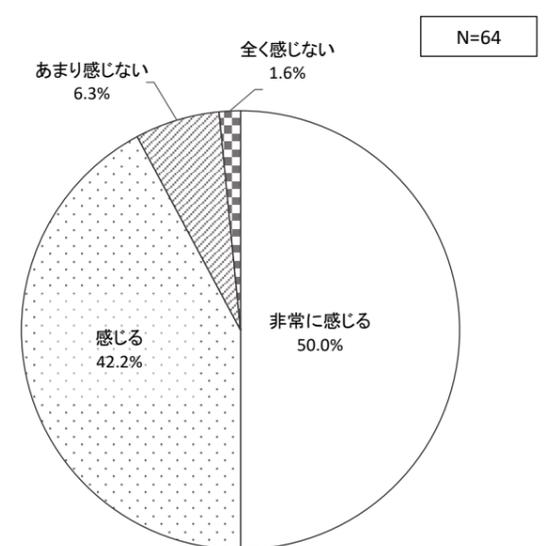
《質問8で、「感じない」と回答した理由》

- ・1度オンラインでお会いしたところで、今後の人間関係ができたとは思えない。
- ・実際にお付き合いのある方ではなく、関わり方が不透明な為。デイサービスの管理の場合、定期的な関りや業務提携などがなく今後生かすことは難しい。例えば、今回の交流会の中で、歯科の方や保健師の方がいるが、講演会や講習を行っていただくところまでの繋がりが構築して頂けるとありがたいです。交流会は多数の方が参加されますので、それぞれのゴールがあると思いますが今回のGWだけだと今後へつなげることは難しいと感じました。

《質問8で、「あまり感じない」と回答した理由》

- ・次回、共通の業務を行う動機付けが見えてこない。どの様に連携を進めたら良いのか、わからない(今までも交流会では納得しても、翌日からの実践にどう繋げて行ったら良いのかわからなかった)。
- ・その場限りで終わってしまう感じがします。その後も継続的に活動などがあればよいと思います。
- ・業務に活かすためには参加者の事業所の概要(どこでどんなことやっている)がわかること、そこでの特徴的な取り組みが知って自分の実践に活かせるといったことがあると有用かもしれません。コロナ禍も2年目、当初困ったこととワクチン接種が普及した今の困りどころも変化しているように思います。そのあたりどこを焦点化するのかも大切ななと思いました。

9. 医療と介護の連携が、仕事の働きがいに繋がっていると感じるか



R3 顔の見える関係づくり交流会 アンケート結果

10. 今後の交流会に期待すること、希望する話題や交流手法についての意見(抜粋)

■交流会に期待・希望すること(7)

- ・交流会への参加者が増えることを希望(4)
 - *さらに交流会に参加する人が増え、ケース支援を一緒に行う前から知り合いになれると嬉しい
 - *医療関係者の参加促進の検討を希望。Zoomで参加しやすくなったと感じたので、医療関係者がもっと多く参加いただけるとうれしい
 - *コロナ禍での交流が新しい形で出来るようになり、多くの方々との交流が持てるようになる事を期待する
 - *甲府市、甲府市医師会の協働で、今後もオンライン交流会をより多くの人に参加できるようにしていただけると良いと思う
- ・しんげんネットの普及につながることを期待(今回のご講演は、しんげんネット既利用者には「動画利用方法の実例紹介」の点で有益であった一方、未経験者の方々には「基本機能(情報交換・共有)が役立っている実例の提示」が、利用促進の動機付けになったと思う)
- ・定期的な開催を希望
- ・甲府市で開催する場合は、広域となるので、地域内にないサービスや、地域にいないセラピストとも出会える機会になると思う

■希望する話題についての意見(9)

- ・しんげんネットに関する話題(3)
 - *もっと気軽に活用できる環境作りの為、事例を中心にした検討会の開催 *さらなる周知が必要
 - *繋がりや連携に関するしんげんネットなどの活用についてなど具体的な事
- ・コロナ禍での対応に関する話題(3)
 - *感染対策を講じつつ徐々に元の生活を目指していく過程での悩みや前向きな実践報告など
 - *新型コロナウイルスの対応等、他所ではどの様な対応をしているのか等の情報収集、議論
 - *コロナ禍での入退院についての話題。情報収集や連携について、どのように工夫すれば良いのか(現在、仕事上大変と感じるのが、退院時の情報収集。新規で退院後受け持つ場合に、入院病院の情報がとても大切になるため)
- ・色々な現場において想定される課題ごとに、連携のパターンや具体的な相談窓口などの紹介(コロナ禍における現状・課題に限らず)
- ・各職種に対して、他の職種からの意見要望(「こんな時はこうしてほしい」等望むことがあれば意見をもらうことは参考になると思う)
- ・コロナが話題の中心にならないような、地域・医療と介護の話題が聴かれると嬉しい

■交流手法についての意見(18)

〈オンライン交流に関するもの〉

- ・Zoom研修は良い試みだった(3)
 - *顔を見て(マスクを外し)話、連携づくりができた *周りを気にすることなく、集中して参加することができた
- ・今後もオンラインでの交流会の開催を希望(3)
 - *地区ごとで規模を小さくしてZoomで行ってほしい
 - *対面での交流会が出来ればそれにこしたことはないが、お互いにリスクの高い方を支援している立場上、当面はZoomでの交流会が望ましいように思う
- ・対面での交流会を希望(コロナ感染症終息後)(3)
 - *コロナ感染症が収束し、以前のような対面での交流会ができるとさらに連携強化につながると思う。しかし、今回のようなZoomを通じた交流会も有意義だった *コロナが終息して対面で開催できるように願っている
- ・マスクを外し会話が出来る事に喜びを感じる一方、グループ以外の方との交流が図れないことが残念
- ・GWで他のGWに参加の人の音声が入って聞き取りにくいところがあり残念だった。同施設で複数の参加の場合、別部屋か音声の遮断方法を考慮してくださるとありがたいし、今後の課題だと思われる

〈その他交流手法に関するもの〉

- ・特定のテーマなどに沿って開く *特定のシチュエーションを設定して話すのが良い
- ・グループのテーマが決まってい、各自が自由にそのグループに参加できると興味が増す
- ・参加者が多く、グループ以外の方との交流がないため、小規模の交流会にしてみてもどうか
- ・同地区での集まりがあれば、今後お会いする事も多くなり連携もとりやすくなると思う
- ・簡単な自己紹介から始まったが、時間があれば、その方の肩書きだけではわからない、普段の業務内容なども話せる時間があると、今後につながる連携のきっかけになるのではないかと。職種名だけだと、一般的なイメージしか持てないので、より詳しく聞きたかった
- ・仕事で他職種の方との連携は増えてきたが医師との連携は少なかった。グループワークのメンバーに医師がいて大変良かった

■その他意見(2)

- ・しんげんネットの活用がまだまだ進んでいないと感じる。余談だが、導入時期にいない方も増えてきたため、交流会とは別に再度説明会があるといいと感じた
- ・今後もICTを活用した情報共有は必要とされると思う。またICTを使った情報共有手段を多職種の方、他の事業所の方と共有する機会を作って頂けるとありがたい

11. 交流会へ参加しての意見・感想等(抜粋)

■オンライン開催について(24)

- ・オンライン研修は初めてだったが、参加までの流れについて説明があり、スムーズに参加できた(2)
- ・マスクを外して、グループワーク、話ができよかった(対面研修や会議ではマスク着用のため表情が分からない)(2)
- ・Zoomでのグループワーク方式は初めてだったが、とてもスムーズに話し合いができた。コロナだからできないではなく、コロナだからこそできることを、改めて考える機会となった
- ・Zoom開催により、名前は知っていたが、挨拶したことが無い方とも知り合うことができた
- ・Zoomの活用の幅が広がった *Zoomの練習になった *Zoomを使うことで、感染対策になる
- ・今後もオンライン開催方式を継続して欲しい *参加者の環境さえ整っていれば、Zoomで全く問題ないと思う
- ・対面形式と比較し、メリット・デメリットがある
 - *グループワークでも一部の方とはマスクなしで会話ができて、相手の表情を見ながら話ができることの楽しさと大切さを改めて実感。一方、個人的な会話がほほできないので、やはり実際に会って話をする方が、より親近感が感じられ、交流も深まるように思う。名刺交換ができないのも残念だった

[その他メリット]

- ・移動の負担がない(5)、夜間帯でも参加しやすい(3)、グループ討議時に発言者が固定されるため意見が聞き取りやすい(2)、記録として残し易い

[その他デメリット]

- ・同じグループ以外の方との挨拶や情報交換が難しい

■その他ICTの活用について(10)

- ・ICTの活用方法も改めて学ぶことができた、ヒントになった(2)
- ・慣れることが目的としては、一定の成果があったと思う
- ・ICTの活用は慣れるしかないと考える。繰り返し、初めての方々には負担にならないよう配慮しながら、機会を作ってほしい
- ・ICTを活用することで、さらなる連携を望むことができ、視覚的に確認できることで安心感につながることを再確認した
- ・ICTはLIFEの導入などに伴い、ケアマネももっと慣れていかねばならないと感じる。このコロナ禍を利用してもっと慣れることができるようにしていきたい。
- ・今後を考えるとICTの活用をもっと学び、当たり前になりたい。介護施設では夜間・休日の医療機関受診対応に困っている。しんげんネットをその様な時に役立てることができるのであればご指導願いたい。医療連携のルートをスムーズにして欲しい
- ・ハード面を整えることには何の権限もないスタッフのため難しさを感じるが、感染対策としてICTはとても有用だと思う。病院にも提案していこうと思う
- ・薬剤師会では、研修会は別だが、Zoomを使った会議は効率が悪く否定的な方が多いが、今回のような多職種で同じ状況などを把握するためには動画も使えるICTの活用は素晴らしいと思った。参加してよかった
- ・ICTの使いこなしは今後とても重要と感じる。担当者会議でホストになることができたなら挑戦してみたい

■交流手法について(7)

- ・相手の事業所がどんな特徴があるのかわからないままに会話をするというのは多職種だからこそ難しいと思う。今回の様に、まずはZoomでやってみることが目標ならばもう少しグループワークを丁寧にした方が良かったのではないかと(短かった)
- ・様々な職種の方とお話できる良い機会のため、今後も、対面だけでなく今回の様な交流の形も良いと思った。短時間に複数の方と意見交換ができ、有意義な時間だった
- ・議題や目的に応じてグループ分けのメンバーを検討いただくと有効だと感じた。今回は、コロナ渦における医療連携の苦労や工夫の共有が目的ならば、病院勤務者がグループにいれば良かったと感じた。顔の見える関係作りと、お互いの苦労や工夫をねぎらう交流目的ならば、とても有意義だったと感じた
- ・同じグループに普段から面識のある方もいらしたので、まったく初対面の方との交流が出来ればよかった
- ・参加人数が多いため難しいであろうが、できれば地区ごとにまとめてもらえるとありがたい
- ・限られたメンバーでの話も濃密でよいが、やはり色々な意見や話を聞きたいので、全部の班の話を聞きたかった。そのようにしたほうが、皆さんの参加満足感はより高くなるのではないかと
- ・時間の関係で当日発表できなかったグループのご意見を(今からでも)閲覧できるようにしていただけるとありがたい

■その他の感想・要望(30)

- ・多職種の参加により、様々な考え方や視点、やり方を知ることができた(4) *参加して良かった(3) *今後も参加したい(2)
- ・毎回参加しているが、今回が最も「顔が見えた！」交流会だった
- ・多職種の方と情報交換をすることが少ない中で貴重な経験ができた。自社で共有し活用したい
- ・今回、初めて参加したが、もっと早く参加させていただければよかったと感じた
- ・他職種の皆様とお会い出来る機会が楽しみ。ありがとうございます
- ・コロナ禍の中、皆さんが試行錯誤しながらより良いサービスを提供しようとしていることがわかり、非常に刺激を受けた
- ・時間帯が夜間のため、参加メンバーに制限があったことは事実。開催時間が業務終了後になるのがこの交流会の特徴のため、オンライン開催のメリットは大きいと思う。今後も多くの方に参加の呼びかけをしていきたい
- ・冒頭の「しんげんネット」のお知らせや実践事例の報告は興味深かったが、しんげんネット自体身近ではないのでデータとして欲しかった
- ・事務局、実行委員、関係者の皆さんへ感謝、ねぎらいの言葉(14)